

1章 冷戦と第三世界の独立 I

問題

【1】

解答

- 設問1 1 ギリシア・トルコ 2 チェコスロヴァキア
3 西ヨーロッパ連合（ブリュッセル） 4 キリスト教民主同盟（CDU）
5 パリ協定 6 中ソ友好同盟相互援助条約 7 フルシチョフ
8 西ドイツ 9 部分的核実験停止条約 10 核拡散防止条約
- 設問2 い 設問3 く・け 設問4 第五福竜丸事件
設問5 インドーネルー ユーゴスラヴィア－ティトー
設問6 アイゼンハウアーとフルシチョフ

解説

基本的な内容が中心であり、学習の到達度を見るのに適した問題。核兵器や軍備制限に関する条約名で混乱する場合、問題演習を数多くこなし、年号・条約名・簡潔な条約内容をセットにしておきたい。

- 設問1 1 問題文をしっかりと読まないでギリシア・トルコと2カ国の名を入れるのは難しい。「(1) 両国」となっていることにまず気づいてほしい。
- 2 「1948年2月」という切り口で解くこともできるが、(3)との因果関係から(2)をチェコスロヴァキアと思いつくのもよい。近・現代史は年代を押さえなければどうにもならないのだが、その年代も事実の前後関係を把握するための手段にすぎないのであって、数字だけを覚えてもほとんど役に立たない。
- 3 これは軍事同盟であって、のちのNATOに発展していく。その意味で、チェコスロヴァキアで共産主義政権が成立したことこそ、冷戦が始まったことにふさわしい事件なのである。
- 4 ここは難しい。答えを見てそうなんだな、と気づいても後の祭りである。近・現代の欧米各国の首脳を「形容」する表現は政党名だと相場が決まっている。人物の前に何を入れてよいかわからなかったら政党名を入れる、と覚えておこう。
- 5 西ドイツの「主権を回復」という部分で解けなければならない。これを機会に「パリ」を冠した会議・条約などを確認しておくとうい。
- 6 「1950年2月」で解くこともできるが、文章で中ソの連携を思い浮かべれば答えられるであろう。
- 7 「スターリン批判」の部分で解くことができる。ここは絶対に答えられるようになってほしい。
- 8 「日ソ国交回復」が後ろにあるので、西ドイツしかあり得ない。
- 9・10 両者とも時期から判断して解かねばならない。問われていることは核戦争勃発の可能性を減少させていった、というところで、核軍縮交渉の年表を思い浮かべればよい。

設問2 北大西洋条約機構（NATO）にカナダが入っていることを知らなければ解くことはできない。NATOだけでなく、戦後に形成された多国間同盟は参加国をしっかりと頭に叩きこんでおくこと。

設問3 か 朝鮮戦争が始まったのは1951年ではなく1950年であるし、中国人民解放軍が南下したのは戦争が始まってからであるので、まったく誤りである。

き リード文とも矛盾している。リード文には「ソ連は軍事介入は回避しつつ」とある。当然誤りである。

こ 警察予備隊が派遣されたという記述にはびっくりさせられる。これを正文と判断した人はあまりにも勉強不足である。今からでも遅くないので、戦後史の日本に関連する部分をしっかりと復習しておくこと。

設問4～6 いずれも戦後史の重要事項である。基本問題は確実に正答しておきたい。

【2】

解答

A 6 B 34 C 31 D 40 E 21 F 28 G 18 H 1
I 10 J 23 K 4 L 5 M 3 N 17 O 36 P 37
Q 25 R 29 S 11 T 15

解説

アジア・アフリカ諸地域の独立について出題した。帝国主義時代の列強の進出についても確認しながら取り組んでほしい。内容としてはほとんどが基本レベルなので、確実に正解したい。

A オランダ領東インドは、日本の降伏後にスカルノを中心として独立宣言を発表したが、宗主国オランダが独立を認めなかったため、4年間にわたって独立戦争が展開された。

B・C 1945年9月、ヴェトナム民主共和国はハノイで独立を宣言したが、宗主国フランスが独立を認めなかったためにインドシナ戦争が起こった。1954年のジュネーヴ休戦協定によって、ヴェトナム民主共和国は北緯17度線付近の軍事境界線以北を支配した。

D ラオスは第二次世界大戦中に日本軍が占領していたが、1946年に王国として復活し、54年のジュネーヴ休戦協定で完全独立が認められた。

E やや細かい。日本の敗北とともに朝鮮各地で結成された建国準備委員会は、李承晩を主席とする朝鮮人民共和国の設立を宣言したが、実現には至らなかった。

F～H・R・S 1898年のアメリカ＝スペイン（米西）戦争によって、フィリピン・グアム・プエルトリコがスペインから合衆国へ割譲された。フィリピンは1934年には10年後の独立を認められ、太平洋戦争によりやや遅れたものの、46年7月にフィリピン共和国として独立し、以後は親米反共路線を採った。

I～K 1911～12年のイタリア＝トルコ戦争で、イタリアはオスマン帝国領のトリポリ・キレナイカを奪って植民地とし、古名を復活させてリビアと改称した。トリポリがリビア西部、キレナイカがリビア東部に当たる。第二次世界大戦中はイギリス・フランスが占領したが、1951年にリビア連合王国として独立した。

- L～N イギリスは1936年のエジプト＝イギリス同盟条約でエジプトに完全な主権を認めたが、スーダンとスエズ運河地帯にはイギリス軍が駐兵を続けた。1952年にナギブやナセルらの指導する自由将校団がエジプト革命を起こして国王を追放し、翌年に共和国を樹立すると、イギリスは54年に運河地帯からの撤兵を承認した。またスーダンは、1899年以來のイギリス・エジプト共同統治下から1956年に共和国として独立した。
- O・P 1997年、香港はアヘン戦争後の南京条約以來、155年ぶりにイギリスから中国に返還された。マカオはポルトガル人に居住権が認められてから4世紀半ぶりの1999年にポルトガルから中国に返還された。香港・マカオでは、ともに一国二制度の下、資本主義体制が維持されている。
- Q 合衆国はパナマのコロンビアからの分離・独立を支援した。パナマ運河の工事権・租借権を得て1904年に着工し、14年に開通させた。以後、パナマ運河地帯は合衆国の経済・軍事における重要拠点として機能していたが、1999年末にパナマに返還された。
- M ジブラルタルは、スペイン継承戦争の講和条約であるユトレヒト条約において、スペインからイギリスへの割譲が定められた。